



2016.October



今号の内容

総合学生支援棟1階に設置
学生なんでも相談室始動!!!
こまったらまずココに!!

健康手帳「若年女性に特有の病気」
教員になるための
「実践的な学び」
を支援します!!
教職キャリア支援センター

もうすぐ**第33回鳴瀬祭**
太陽燦々! 笑顔燦々!
み(3)んなご(3)わけよ鳴瀬祭!!

国際交流

南アフリカプレトリア大学
との共同研究

ジブチ国別研修
現地調査への参加

ほか

学園だより

G A K U E N D A Y O R I

学園だより No.74

CONTENTS

2016.10

持てる力の120%発揮するぐらいの気持ちで実習に	1
	学長 山下 一夫
理事紹介	2
	大石 雅章, 佐古 秀一, 岩切健一郎
ようこそ鳴門へ ～新任教職員の横顔～	3
	佐藤 長武, 阿部 祐一, 中野 宏栄
教育・研究活動紹介	4
教員になるための「実践的な学び」を支援します！	
	教職キャリア支援センター 所長 藤井伊佐子
小学校英語の教科化に向けた小学校英語教育センターの将来に向けて	
	小学校英語教育センター 所長 石濱 博之
熱戦！！ 第67回四国地区大学総合体育大会	6
競技日程・成績, 壮行会・競技の様様	
もうすぐ鳴潮祭	8
太陽燦々！笑顔燦々！み（3）んなさ（3）わけよ鳴潮祭！！	
	第33回鳴潮祭（大学祭）実行委員会委員長 井上 皓太
課外活動News ～新しく設立しました！～	10
ライフセービング部	部長 金森 優太
二輪サークル	代表 白岩 賢
鳴教子どもアートプロジェクト	代表 深水 南那・榎野 茜
茶花道部	部長 鈴江 紫苑
こんにちは附属です	12
こんにちは附属小学校です	附属小学校 教諭 長野 仁志
「夏の思い出」ー吹奏楽部ー	附属中学校 教諭 上原 祥子
避難訓練をしています	附属特別支援学校 教諭 後山 真吾
徳島の自然感じる渦の道	附属幼稚園 教諭 佐藤 彩香
国際交流	14
プレトリア大学（南アフリカ共和国）との共同研究	湯地 宏樹・塩路 晶子
ジブチ国別研修現地調査への参加	三矢 菜摘
海外留学体験記	村上 太郎
勇者になる道へ	曹 旭
学生なんでも相談室始動	18
	学生なんでも相談室室長 井上とも子, 森松香菜実, 西野麻衣子
学生会・院生会だより	19
続ける, そして始める	学生会長 竹下早慧子
超変革！！	院生会長 遠藤 雅大
健康手帳 「若年女性に特有の病気」	20
	心身健康センター所長 廣瀬 政雄
行事予定 / 編集後記	21

持てる力の120%発揮する ぐらいの気持ちで実習に

◆ 鳴門教育大学長 やま した かず お
山 下 一 夫

実習こそ本学の教育の中核

本学は、実践力と省察力^{せいさつりよく}を身につけた教員（あるいは臨床心理士）を養成したいと願い、長年にわたりカリキュラムの開発に取り組んできており、そのカリキュラムの中核に実習を位置づけています。それは、学部、修士課程、専門職学位課程（教職大学院）、あるいは臨床心理士養成コースや国際教育コースなど、どこも同じことです。

理論と実践の往還

しかし、実習時間を多くすれば良い、というわけでもありません。実際、ある大学の教育学部が実習重視ということで本学の倍ほどの時間を実習に充てましたが、結局、5、6年経過した後、必ずしも教育実践力がつくわけではないということがわかり、本学と同じぐらいの時間数に戻しました。要は、実習の質が問われているのです。

実習の質を高めるためには、知識や理論を学ぶことが大事です。また、実習から少し離れ、自発的に自らの経験を振り返り、見つめ直し、これからの自分に生かそうと前向きによく考えること、つまり‘reflection’（省察、熟考、反省）も大事です。

まさに、「理論と実践の往還^{おうかん}」です。そして、省察力を身につけることによって、大学を卒業・修了後も、自ら学び続ける教員として成長していけるのです。

主免教育実習

学部3年次、大学院長期履修学生2年次の皆さん、9月の主免教育実習、お疲れ様。8月末の事前指導の最終日、私も参加し皆さんを前にして少し話をしました。そのとき、多くの皆さんからやる気や元気を感じました。それは、これから1ヶ

月間実習させてもらう者として、また教師になりたい者としての意気込みや自覚といったものが、身なりや姿勢や挨拶の声に現れているからです。しかし、なかにはそれが余り感じられない人もいて、心配になりました。



実習生としての心構えは、実習担当の教員だけでなく何より子供たちに伝わっています。真面目^{まじめ}であることは大切ですが、若者として元気であり爽やか^{さわ}でなければなりません。もちろん、実習をいい加減に考えているようでは、子供たちに全くもって失礼であり、論外です。持てる力の120%発揮するぐらいの気持ちで実習に取り組んでください。

自己評価

本学では実習への参加検定である「自己診査」と「評価ルーブリック」を開発しました。これらをもとに省察したとき、あれもこれもうまくできなかったと、落ち込んで当然です。しかし、反省し後悔するだけなら成長しません。厳しく評価（省察）する自分をやさしく評価（尊重）してください。

自分のなかの悪いところだけでなく良いところにも気づき、こんな私だけど私は私が好きだ、と思えることが大事です。すると、理想を目指しながらも、健康に留意し、焦らずぼちぼち行こう、という心境になってきます。

蛇足ですが、教師たる者、いつも60点でいいからぼちぼち行こう、というわけではありません。ときには、100点、自己ベストを目指して頑張ってください。

理事紹介



能力を伸ばすため、チャレンジしよう！

◆ 理事（教育・研究担当）（兼）副学長（教育・研究担当） おお いし まさ あき 大石 雅章

先日、イタリアの有名大学を卒業した学生たちの就職難に悩む姿がテレビで放映されていました。社会人としていかに生きていくか、大学での生活がそれに深く関わっています。学校現場に限らず、あらゆる職種において即戦力が問われ、教養や専門的知識はもちろん、思考力・

判断力・表現力・協働力などの総合的能力、さらにはグローバル社会の進展に伴い英語力が求められています。学生の皆さん！夢を叶えるために、授業はもとより、クラブ活動、ボランティア活動など様々な活動に取り組み、幅広い能力を磨いていただきたい。本学はそのような学生をできる限り応援します。



鳴教で学ぶ。

◆ 理事（入試・社会連携担当）（兼）副学長（入試・社会連携担当） さ こ ひで かず 佐古 秀一

同じことを教えても子どもによってその受け止め方は違って来る、子どもの違いに目を向けて一人ひとりの子どもの学びを育てていくことができるところに、教師の専門性（教職の職業的意義）があると思います。子どもの多様性を前提とすれば、教師の仕事には、「これでよい」という万能薬的な処方箋は成りがたいと考

えられます。一人ひとりの子どもの存在を受け止めながら、その学びを育てていくことは難しい仕事ですが、そのような先生は子どもにとってはかけがえのない存在でもあります。大学では教職に必要な知識やスキルを習得することと思いますが、それとともに、子どもとともに考え、課題の解決に取り組む創造的な教師をめざして学んでいただくことを期待しています。



「環境は無言の教育」、鳴門キャンパス！

◆ 理事（総務・財務担当）（兼）副学長（予算・施設担当） いわ きり けんいちろう 岩切 健一郎

4月に理事・副学長に着任しました岩切です。

これまで文部科学省では生涯学習関係、高等教育関係等の業務を経て国立歴史民俗博物館管理部長、筑波大学総務部長などの仕事を経験して参りました。

本学は、新構想大学として「教員教育のリーダー大学」のミッションの下で、豊かな人間性と幅広い教養、そして高度な専門性と教育実践力を備えた優れた教員の養成を目的としています。なお、教育成果の質の評価の一例として教員就職率6年連続全国1位を達成しています。

皆様方に優れた教師となるという目標を達成して頂くためには、丁寧な教育に併せてキャンパス環境の充実が不可欠であります。

本学は、初代前田学長の「環境は無言の教育」との信念の下に、我が国有数の美しいキャンパスが造られました。

しかしながら開学後30年以上が経過し、老朽化・高機能化等の様々な課題が発生しております。予算・施設を担当する立場として、皆様方のキャンパスライフがより充実としたものになるよう全力を尽くして参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～



昨年度まで、徳島県公立
中学校及び本学附属特別支
援学校で勤務しておりました。

が、ご縁があって4月に着任いたしました。
社会を取り巻く環境の変化に伴い、学校教育を担
う教員の資質能力の向上が求められています。一

◆ 特別支援教育専攻 講師 佐藤 長 武

方で、社会がどのように変化しようとも教師とし
ての使命感、教育的愛情、教科や教職に関する専
門的知識など従来から必要とされてきた不易の能
力が基盤であると考えます。これまでの経験を生
かし、人間力豊かな魅力ある教員の養成に努めて
まいります。どうぞよろしくお願いいたします。



本年4月に、経営企画本
部総務課長に着任し、本部
棟2階にある事務室で勤務

しています。本学での仕事は、国立大学法人鳴門
教育大学の事務の総轄です。仕事の内容上、学生
のみなさんと接する機会はほとんどありませんが、
日々元気な学生さんの姿にパワーをいただいでい
ます。私の経験からのことですが、学生時代の読

◆ 総務課長 阿部 祐 一

書と旅は人生の大切な宝物になるものです。“読
書に疲れたら旅を、旅に疲れたら読書を”。みんな、
ガンバレ！応援しています。

昨今の大学を取り巻く状況には厳しいものがあ
りますが、山下学長の下、“元気に、明るく”頑張っ
ていこうと思います。

休みの日には、山歩きと歩き遍路をして、県内
をあちこちしています。みなさんも如何ですか？



今年4月に、教務企画課
長に着任しました。履修相
談や証明書の発行など総合

学生支援棟2階の業務に加え、附属図書館も担当
しています。

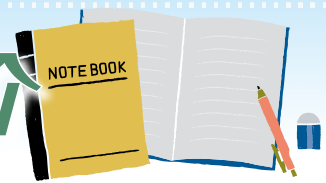
いずれも学生の皆さんにとって、身近な存在で
すので、皆さんが充実した学生生活を送れるよう、
サービスの向上に努めてまいります。

私の前任は香川大学です。そこでは、3年間、
留学生の受入れ、日本人学生の海外派遣などの国

◆ 教務企画課長 中野 宏 栄

際部門の業務を担当し、大学のグローバル化を進
めてきました。それ以前は、文部科学省等で教員
養成・研修に携わってきた期間が一番長くなりま
す。その間、教育の要は「教員」であり、その資
質の向上に大学の果たす役割がいかに大きいか実
感してきました。

これまでに培った知見を活かし、鳴門教育大学
が、一層の発展するよう尽力したいと思いたすの
で、何とぞよろしくお願いいたします。



小学校英語の教科化に向けた小学校英語教育センターの将来に向けて

◆ 小学校英語教育センター 所長 ^{いし}石 ^{はま}濱 ^{ひろ}博 ^{ゆき}之

鳴門教育大学では、平成17年4月に全国の国立大学法人に先駆けて小学校英語教育センターを開設いたしました。開設当初の目的は、「カリキュラム開発分野」と「研修・支援プログラム開発分野」を置き、小学校英語教育に関する研究と学校現場への実践サポートを実施することでした。実際に、小学校英語教育に関する研究と学校教育現場への支援を行ってきました。

現在の小学校英語教育センターの役割は、「研修」、「研究」、及び「教育支援」の3つの柱で構成されています。研修面では、センター専任教員が各地の研修会場や学校に出向き、依頼されたテーマで行う教員研修を継続しています。研究面では、海外の小学校英語教育調査、教材開発、小・中接続カリキュラム、及び指導から評価までの研究に取り組んでいます。教育支援面では、英語教育に関する指導助言、e-learningコンテンツの公開、及び教材・絵本データベースからの無料貸し出し等を実施しています。平成27年度から、当センターの報告を兼ねながら発信するために年4回の割合でニュースレターを発行しております。また、平成26年度から小学校英語教育センター専門教員が中心となって小学校英語教育センターと鳴門教育大学附属小学校との共同で「先駆的かつ持続可能な英語教育の開発プロジェクト」研究を推進し

ています。その研究成果も発信しております。更に、毎年1回、小学校英語教育センターが主催するシンポジウムを徳島市内で開催しております。英語教育に関係している方や英語教育に関心がある方が参加しております。

ところで、中央教育審議会教育課程企画特別部会資料1（平成28年8月1日付）によれば、小学校高学年では年間70単位時間の教科型、小学校中学年では年間35時間の活動型のイメージが示されました。当然、中央教育審議会の提言が次回学習指導要領に反映されます。小学校における外国語教育（英語教育）に関しては、平成32年度（2020年度）に小学校高学年での英語の教科化、中学年での外国語活動を実施することになるでしょう。この国の言語政策に向けて、小学校英語教育センターは英語教育を推進するために重要な役割を担っております。特に、鳴門教育大学は地域貢献をする大学と位置づけられておりますので、当センターが地域に根ざして、地域に愛されて、地域に英語教育の情報を発信できるようにしていきます。そのためにも、創造性豊かな小学校英語教育の構築をしながら、教員研修などの課題に向き合って解決していく覚悟です。

小学校英語教育センターが地域に活用されることを強く願っております。



教員研修の例



小学校英語教育センターシンポジウム（平成27年度実施）

熱戦!! 第67回四国地区大学総合体育大会

第67回四国インカレが、高知大学を主管大学として 高知県内各会場で開催されました。

本学からは、13競技に17団体・総勢210名（男子167名・女子43名）の選手が参加し、熱い戦いを繰り上げました。

参加競技種目	参加団体名	競技会場	開催日程
1 陸上競技	陸上競技部	高知県立春野総合運動公園	7 / 9 , 1 0
2 水泳競技	水泳部	高知市東部総合運動場	6 / 2 5 , 2 6
3 硬式野球	野球部	高知県立春野総合運動公園	7 / 1 ~ 3
4 硬式庭球	男子硬式テニス部 女子硬式テニス部	高知県立春野総合運動公園	7 / 8 ~ 1 0
5 バスケットボール	男子バスケットボール部 女子バスケットボール部	高知県立春野総合運動公園	6 / 2 5 , 2 6
6 バレーボール	男子バレーボール部 女子バレーボール部	高知県立春野総合運動公園	7 / 2 , 3
7 サッカー	サッカー部	野市ふれあい広場	7 / 2 , 3
8 ラグビー	ラグビーフットボール部	高知県立春野総合運動公園	5/15, 21, 28
9 バドミントン	バドミントン部	高知県立春野総合運動公園	7 / 8 , 9
10 剣道	剣道部	高知県立武道館	6/26
11 ハンドボール	男子ハンドボール部 女子ハンドボール部	高知県立大学（池キャンパス）	7 / 2 , 3
12 弓道	弓道部	高知県立弓道場	7 / 9 , 1 0
13 フットサル	フットサル部	高知市総合運動場	7 / 9 , 1 0
13競技 / 17団体		開会式 : 7 / 8	閉会式: 7 / 10 高知大学（朝倉キャンパス）

〈大会成績〉

総合 男子7位（前回9位） 女子12位（前回12位）

競技別（3位以上） ラグビーフットボール 第2位

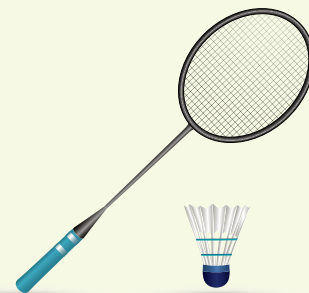
個人【種目別】（3位以上）

陸上競技

越野 友貴	男子走幅跳	第1位
久保こころ	女子400m走	第3位
	女子800m走	第1位
原田 佳奈	女子円盤投	第1位
上野 瑞穂	女子やり投	第1位

バドミントン

金森 優太	男子シングルス	第2位
-------	---------	-----



熱戦!! 第67回四国地区大学総合体育大会



もうすぐ 鳴潮祭

太陽燦々！笑顔燦々！み(3)んなさ(3)わけよ鳴潮祭！！

◆ 第33回鳴潮祭（大学祭）実行委員会委員長 井上 皓太

みなさんこんにちは！！このたび、第33回鳴潮祭の実行委員長を務めさせていただくことになりました井上皓太です。今年の鳴潮祭の日程は11月11日（金）～13日（日）に開催される予定です。さて、今年のメインテーマは・・・



に決定しました。

このテーマは今回の鳴潮祭が第33回というゾロ目の回数ということで、テーマの中にふんだんに33を入れました。「太陽燦々」と「笑顔燦々」は鳴教生、近隣の地域住民の皆様を含めた鳴潮祭参加者全員の心に太陽が、表情は笑顔に輝くようにという願いをこめています。また後半部分はみんなで楽しく騒いで最高の鳴潮祭にしようという思いを入れています。来場していただいた方々にたくさんの笑顔が生まれるような企画を考えていますので楽しみにしていただけたらと思います。

さて、今年の鳴潮祭に対して皆さんはどのような事を期待し、何を思っているのでしょうか？1年生にとっては初めての鳴潮祭であり、期待と不安の両方の思いを持っていることでしょう。しかし、鳴潮祭では「1年生が主役である」という風潮があります。1年生には、ステージや模擬店などで大いに活躍してもらい、みんなに笑顔を作ってほしいと思います。4年生は実習期間と重なり、なかなか参加できないかもしれませんが、過去3回の鳴潮祭を経験した知識を生かしていただけたらと思います。2,3年生は昨年、一昨年に鳴潮祭を経験していることから、昨年、一昨年以上の

鳴潮祭にしたいという思いがあると思います。よりよい鳴潮祭にするために、1年生をしっかりと引っ張って行ってほしいと思います。また大学院生の方々、大学職員の方々、地域の方々に参加していただけるような鳴潮祭にしましょう。

それぞれの思いを裏切らないよう、私たち実行委員14名は過去の実行委員の方々からアドバイスをもらい、企画や準備などを進め頑張っています。

では、ここで今年度の鳴潮祭実行委員会委員を紹介したいと思います。



もうすぐ 鳴潮祭

第33回鳴潮祭実行委員会委員



三役として全体をまとめる上段左より、さくら、こーた、せーじ

企画として企画の作成やライブの運営を手掛ける左中段左より、たすく、マッピー、まつもり

広報としてスポンサー集めやパンフレット作成に励んでいる右中段左より、うえき、ももか、ほーちゃん、いまいけ、益子ちゃん

模擬店として衛生面の管理などをする下段左より、いけしん、大ちゃん、やすまる

この14人で最高の学祭をすることを目指しています。これからいろんな困難があると思いますが、この14人なら乗り切れると思います。皆様のご協力とご理解をお願いします。

最後となりましたが、鳴門教育大学同窓会、後援会の皆様、スポンサーを引き受けてくださった皆様、学生課の方々など多くの支援により私たちは活動でき、鳴潮祭を行うことができます。本当にありがとうございます。

課外活動 News ～新しく設立しました！～

ライフセービング部

◆ 部長 かな もり ゆう た 金 森 優 太

ライフセービングのスタートは全員同じところから始まります。私も知識など何もなく泳げない状態から始まりました。確かに最初は慣れない環境かもしれませんが。

今まで自分の「得意なことばかり、自信があることばかり」を続けてきた。という人がたくさんいると思います。

ですがライフセービングは、自分次第でどこまででも成長でき、得るものは想像以上に大きく、将来の強みになる活動だと感じています。

何をするにしても、大学生は自分が興味のあることにどんどんチャレンジしていくべきだと思います。別にそれは1つでなくてもいいと思います。例え失敗しても、それはあなたがチャレンジした証です。

もし、ライフセービング部で頑張りたいと思う方は、是非一緒に頑張りましょう！

一番大切なのはあなたのハート♡です！

周りを気にせずスポーツに専念できる環境は学生のうちしかありません。

そして社会人との触れ合いの多い鳴門教育大学ライフセービング部では人命救助に関する知識だけでなく、社会におけるルールやマナーを学ぶこともできます。

こんなに魅力があり、そして努力が結果に結びつく部活はライフセービングしかないと思います！

〈学校教育研究科 教科領域教育専攻 生活・健康系（保健体育）コース 2年〉



【平成28年4月1日設立】

二輪サークル設立しました！

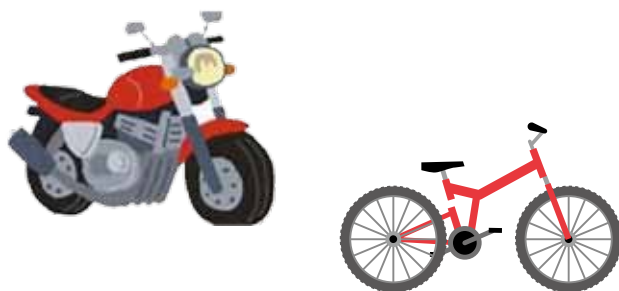
◆ 代表 しら いわ さとる 白 岩 賢

二輪サークルは今年5月に設立しました。自転車やバイクのことを好きな人が集まってトークしたり、ツーリングに行ったり…基本的にはのんびりと活動する部活です。また、安全運転講習会など特別なイベントがある場合は積極的に参加し、運転技術を磨くことで二輪車ライフをより豊かにしていくことも目的としています。ですが、基本的にはゆるーく活動しています。活動時間等は具体的には決まっておらず、ツーリングに行きたい！と思ったらみんなを誘う、そんな感じです。部員は現在10名、ほとんどが他と兼部しています。

現在部員が少ないので、絶賛募集しています！現時点でバイクや自転車を持っていない人もいますので、そういう人でも、バイクや自転車が好きで語り合いたい！と言う人は大歓迎です。特に1

年生の方々は、そろそろ大学にも慣れ、新しい趣味を見つけないかと思っている人も多いのではないでしょうか。二輪車は非常にいい趣味になりますよ！さあ、皆さんも一緒にツーリングに行きませんか！もちろん上級生の方も歓迎です。興味がある方は二輪サークル所属者まで！

〈学校教育学部 音楽科教育コース 2年〉



【平成28年5月1日設立】

鳴教子どもアートプロジェクト



私たち「鳴教子どもアートプロジェクト」は、子どもたちが美術的活動を通して主体的に学ぶ活動を企画、推進、支援することを目的として活動しています。具体的には、社会連携課地域連携係と鳴門市が運営しているワークショップN*CAPに学生として参加したり、鳴門市と鳴門市子どものまちづくり推進協議会主催の子どものまちフェスティバルにブースを出して子どもと一緒に工作をしたりするなど、子どもたちに美術の楽しさを伝える活動を行っています。

今年の5月「第1回あそぼ! N*CAP」では、大学の地域連携センターで、「光でお絵かき!? ライトを使っておもしろい写真を撮ろう!」をテーマに子どもたちと一緒に活動しました。子どもたちは学生スタッフ、市のボランティアと協力しな

◆ 代表 ^{ふか}深 ^み水 ^な南 ^な那・^{まき}榎 ^の野 ^{あかね}茜

がら、思い思いにライトを動かし色とりどりの光の軌跡を楽しんでいました。

7月の「つくろ! N*CAP!」の活動では、「いろんな形を組み合わせ、皆で海の世界を作りだそう!」をテーマに、子どもたちは様々な紙の端切れを組み合わせオリジナルの生き物を作りました。鑑賞では、ブラックライトを用いて作品が光るという仕掛けを用意しました。光る生き物たちに囲まれ、まるで海の中にいるようでした。

また、昨年度と同様、近代美術館との協働プロジェクトに挑戦しています。子どもたちが美術の魅力を発見し、美術に対するポジティブな気持ちが芽生えるような活動にしていきたいと考えています。

私たちは、これらの活動に向けて、毎週木曜日18時半から会議も行っています。子どもたちに美術の楽しさを伝えることができる活動を一緒に考えてみませんか?気軽に地域連携センター2階に見学に来てください!

〈学校教育学部 音楽科教育コース 3年〉
〈学校教育学部 美術科教育コース 3年〉

【平成27年10月1日設立】

茶花道部



◆ 部長 ^{すず}鈴 ^え江 ^し紫 ^{おん}苑

こんにちは!わたしたち茶花道部は、毎週木曜日の16:00から学生会館(食堂の3階)にある和室で外部の先生をお招きし、お茶とお花の練習を行っています。練習といっても、そんな厳しいものではありません。お茶をしたい人はお茶を、お花をしたい人はお花を、おしゃべりをしたい人はおしゃべりを・・・というように本当に自由な感じ。また、部員は、先生から院生さん、学部生、教職大学院の方まで多くの方がおり、交友の場を広げるにはピッタリの部活です。ですので、初めての方も、本格的にしたい方も、大歓迎です!体験だけでも全然OKなので、ぜひ一度和室へ遊びに来てください!

また、学園祭では花の展示とお茶の提供を行っておりますので、そちらのほうもよろしければお越しください。

〈学校教育学部 国語科教育コース 3年〉

【昭和62年6月1日設立】

小学校

こんにちは附属小学校です

◆ 附属小学校 教諭 ^{ちょう}長 ^の野 ^{ひと}仁 ^し志

附属小学校第3学年の学習は、学校の周囲へ探検に出かけることから始まります。はじめに、学校の周りを「ふぞく町」と名付け、東・西・南・北の4つのエリアに分け、木や草花、昆虫の種類や数、お店や建物の種類や数、人や車の雑踏の様子などを手がかりに町の様子を比べました。

さらに徳島駅周辺、名付けて「駅前町」へも探検にでかけ、「ふぞく町」と比べて、それぞれの特徴を見つけました。また、人にやさしい町という視点でも調べました。

夏休みも終わり、子どもたちの素敵な笑顔や歓声が戻ってきました。ひと回り大きくなった子どもたちの学習の場は、「ふぞく町」「駅前町」から、さらに広がり「徳島市」へ。「徳島市の西のほうは田や畑が…」「北のほうには工場が…」「ひょうたん島って、かたちが…」など徳島市内の各地域の特徴を見つけ始めています。抱いた疑問を解消するためには、出かけなければ…。「こんにちは、附属小学校です。見学させて下

さい…」。

これらの活動を支えてくださっている、地域の方々や保護者の方々に感謝しながら、子どもたちとともに、探検はさらに続いていきます。



中学校

「夏の思い出」－吹奏楽部－

◆ 附属中学校 教諭 ^{うえ}上 ^{はら}原 ^{しょう}祥 ^こ子

「プログラム14番、鳴門教育大学附属中学校、ゴールド、金賞！」

このアナウンス後の生徒の喜び姿を、一生忘れることができません。

7月30日に行われた全日本吹奏楽コンクール徳島県大会において、本校の吹奏楽部が金賞をいただき、24年ぶりに四国大会への出場が決まりました。今のメンバーになり、以前に野々村校長先生が講話の中で生徒におっしゃられた「目的と目標の明確化を図ることの大切さ」、これを吹奏楽部でも意識しました。目的はこれまで同様「吹奏楽を通じて、いい音楽・いい仲間づくりをする」、そして目標は「金賞、四国大会出場！」を合い言葉に、3年生のリーダーシップのもと部員55名が一丸となってがんばってきました。

コンクール当日を迎えるまで、講師の先生方、保護者の方、そして附属中の先生方と、本当に多くの方に様々な面でお世話になりました。そんなお世話になった方の思いもしっかり感じ取

り、本番のステージでは練習の成果を十分に出し切れ、本番後は「演奏していて最高に楽しかった！」と全員が最高の笑顔でした。四国支部大会では、銅賞という結果になりましたが、今年の3年生が作ってくれた軌跡を1、2年生が引き継ぎ、来年も四国支部大会の舞台に立てるように一層努力していきたいと思ひます。

こういった音楽経験を通して、人とのつながりを大切にできる、生涯、音楽を愛好する子どもに育ってくれると信じています。

吹奏楽部の感動的な「夏の思い出」でした。



特別支援学校

避難訓練をしています

学校安全は安全教育と安全管理の両面から取り組みを行うことが必要で、校内に協力体制を敷き、学校活動全体を通じて計画的にかつ関係機関と組織的に行っていくことが重要であるといわれます。特別支援学校では毎年、安全に関する訓練に全校児童生徒が参加して行います。

4月には利用頻度の高いスクールバスが事故に遭遇した場合に備えての避難訓練があります。外出の機会が増える5月の連休前には、交通安全教室を徳島東警察署交通安全課指導のもと行います。7月は地震避難訓練と夏休み前には誘拐防止教室を東警察署生活安全課指導のもと行っています。10月は東消防署の協力のもと火災避難訓練を行ったり、地震津波避難訓練を行ったりしています。地震津波避難訓練は隔年ごとに附属

◆ 附属特別支援学校 教諭 ^{うしろ}後 ^{やま}山 ^{しん}真 ^ご吾

中学校へ避難する訓練を行っています。いずれの訓練も継続して実施することが大切であり、また児童生徒自身が危険予測、危険回避の能力を身につけて安心して避難できるような授業の工夫や、教員との関係を日頃から築いておきたいものです。



幼稚園

徳島の自然感じる渦の道

阿波踊りが終わった8月16日に夏期保育で渦の道に行きました。夏期保育は、子育て支援事業として、遊び場の提供、保護者の自己実現・リフレッシュや育児の多忙感の軽減を目指すことを目的として、保護者会との連携で進めている事業です。今年は幼稚園を飛び出して様々な場所に出掛けていきました。

渦上45メートルの高さからガラス床をのぞき込むと、渦潮や激しい潮流などを目の当たりにした子どもたちは、ガラス床にくっついてじっと眺めたり、渦の上を歩いているような気分で歩き回ったりして、自然のダイナミックさを感じているようでした。また、鳴門海峡の景色を見たり、海風を感じたりして、徳島にもこのような素晴らしい自然があることを保育者や保護者も含め、発

◆ 附属幼稚園 教諭 ^さ佐 ^{とう}藤 ^{あや}彩 ^か香

見・再確認できたように思います。

暑い夏、クーラーや扇風機を使うことが多くなりがちですが、自然のなかで涼をとる工夫、涼を感じるひとときとなる貴重な体験となりました。





プレトリア大学（南アフリカ共和国）との共同研究

◆ 幼年発達支援コース ゆ湯 じ地 ひろ宏 き樹・しお塩 じ路 あき晶 こ子

今年度から幼年発達支援コースは南アフリカ共和国のプレトリア大学（University of Pretoria）との共同研究を本格的に始めています。

プレトリア大学は、鳴門教育大学・大学間交流協定締結校の一つです。経済学部、医学部など9つも学部がある大きな大学です。そのうちの教育学部は、南アフリカで最も大きい教員養成の大学で、人文科学、科学・数学・技術、教育経営・政策、教育心理、幼児教育の5つの学科があります。芝生や緑の木々に囲まれた美しいキャンパスです。

プレトリア大学には、南アフリカ共和国と日本と連携して教員養成や研究を行うことなどを目的とした「日本研究センター」を設置しています。この共同研究もその一環です。

昨年（2015年）3月にプレトリア大学教育学部の幼児教育学科長で日本研究センター所長を兼務している先生が本学を訪問していただき、最初の研究の打ち合わせをしました。それから検討を重ねた結果、「若手保育者のアイデンティティ」について研究をすることになりました。保育者を取り巻く状況が難しくなる中、将来においてリーダー的役割を果たすことが期待される若手保育者がどのように保育者としてのアイデンティティを形成していくかということは、国内にとどまらず国際的にも重要な課題となっているからです。

具体的には、南アフリカ共和国と日本の若手保育者（4年制大学を卒業した幼稚園教諭・保育士など）を対象に、例えば「大学で学んでいたときと仕事に就いてからと保育者のイメージはどのように変化しましたか」「あなたが保育者としてのキャリアを継続するためのモチベーションは何ですか」などの質問項目についてインタビュー調査を行います。

南アフリカ共和国は、多言語・多人種・多民族の国家といわれています。11もの公用語がある中で、小学校3年生以降、英語による教育が始まります。6歳以下の乳幼児は、幼稚園か保育所に通っています。これらの施設は、公立学校、コミュニティや家庭を基盤とするものなど、その形態は様々です。

こうした南アフリカ共和国と日本の幼児教育との共通点や相違点を探り、保育職に対するイメージの変化やアイデンティティ形成のプロセスなどを明らかにしていこうと思っています。

今後はプレトリア大学との共同研究を深めるとともに、現場実習や海外研修など学生間の国際交流ができればと期待しています。





ジブチ国別研修現地調査への参加

◆ 学校教育学部 ^み三 ^や矢 ^な菜 ^{つみ}摘

鳴門で生まれ、鳴門で育ち、鳴門教育大学に入学した私は今までに海外に出た経験がなく、ジブチ共和国が初めて訪れた海外の地となりました。緊張や不安から疲れを感じることも多々ありましたが、私にとっては何もかもが珍しく、新鮮であり、閉じこもっていただけでは得られない新たな刺激を得ることができた良い機会にもなりました。

飛行機による移動時間も合わせて約一週間の滞在で、現地の小中学校の設備や授業の視察、教育に関わる施設に訪れました。小中学校の視察では、驚きや考えさせられることが多くありました。学校の造りや構造について日本との相違点を見つけるたびに驚きや興味深さを感じました。未知の場所を探検しているかのような気分でもありました。特に驚きを感じたのは、学校によっては想像していた以上に理科教育における道具などが揃っていたことです。現地調査にくる以前に鳴門教育大学で行われていた研修では、道具や設備等がないと聞いていたため、そのように感じました。しかし、そろっている道具が生かされていないという状態も見えました。それらをうまく生かすためには教師自身の技量が向上されなければならないという課題を感じました。これは決して他人ごとではな

く、自分自身にも当てはまることです。より良い教育、授業をしたいと考えるなら、環境等の要因の前にまず、教師としての技量をどのように向上させるか考える必要があるということに改めて感じました。小中学校以外に訪れた場所として、国民教育・職業訓練省や外務・国際協力省、大使公邸など、私自身だけでは到底立ち入ることが出来ない場所ばかりで、本当に貴重な体験ができました。

また、現地ではJICAの職員や青年海外協力隊の方々と交流する機会もありました。日本から遠く離れた地で、高い志を持って活動している姿には感銘を受けました。テレビなどの媒体を通してそのような方々がいるということは知識として知っていましたが、実際にその姿を見ると、本当に素晴らしい方々であると感じられ、同じ日本人として誇らしい気持ちになりました。

ジブチの人々、街並み、自然等、見るもの聞くものすべてが私にとっては新しいものばかりでした。新しい出会いや発見は良い刺激となり、私に活力を与えてくれました。不安もありましたが、このような機会を与えていただき、そして現地調査に参加できてよかったと心からそう思っています。

〈理科教育コース 4年〉





海外留学体験記

◆ 学校教育研究科 ^{むら}村 ^{かみ}上 ^た太 ^{ろう}朗

私はアメリカ合衆国のノースカロライナ州にあるウェスタン・カロライナ大学(以下WCU)へ9ヶ月間の留学をしていました。キャンパスは山に囲まれた場所にあり、都会のせわしさや危険な要素はなく、時間が比較的ゆっくり過ぎているように感じます。自然豊かな土地を生かして、川にラフティングへ行ったり山にハイキングへ行ったり滝を見に行ったりする機会があります。天気の良い日には学生は芝生でキャッチボールやフリスビーをして遊んでいることがよくあります。気温に関しては私が通う鳴門教育大学のある鳴門市や四国地方とさほど違いはありませんが、湿度が低く、気温が高くても比較的過ごしやすいように感じました。冬は雪のために授業が休講になることがありましたが、私が在籍していた年は降雪量も少なく、休講になった授業は8回ほどでした。

アメリカの大学は春学期と秋学期に分かれており、WCUは秋学期に30人ほどの多くの留学生がやってきます。イギリスやドイツ、韓国やフランスといったように様々な国から来るため、留学生

同士の交流もたくさん楽しむことができました。留学生のサポートをしてくれるスタッフも親身になって話を聞いてくれるため、留学生が困ることもほとんどありませんでした。

WCUでは最低4つの授業を登録して受講することになります。私は秋学期に4つ、春学期には5つ受講しました。1つの授業に週150分の授業で3つ分の単位にあたります。予習や課題は発展的なことが多く、図書館で友達と課題を作成したり、テスト勉強をしたりして努力していました。プレゼンテーションは不慣れでしたが、準備をしっかりと行い、アメリカ人の友達や他の留学生にアドバイスをもらいながらよりよいプレゼンテーションができるような工夫をしていました。

私自身、外国へ行くことが初めてだったため、全ての経験が新鮮でした。英語を学習することに加え、英語で学習することの大切さも学びました。日本の高等学校英語科では授業を英語で行うことが基本となっているため、この経験をしっかりと活かしたいと思っています。



〈教科・領域教育専攻 言語(英語)コース 2年〉



勇者になる道へ

「勇者」という言葉を聞いて、皆さんはどんな人を思い出すでしょうか？古代ローマのグラディアトル？それとも映画のロッキー？おそらく誰でも「勇者」について自分なりのイメージを持っていると思います。今日は、私がイメージする「勇者」についてお話しようと思います。

私はバドミントンが大好きなので、学部時代はバドミントン部に入っていました。ただ、そのときの私は日本語が流暢ではなく、部活に参加はしますが、部員のみなどとあまり話をしませんでした。だから、相手が何という名前なのかも知りませんでした。そして何となく、他の部員との間に見えない壁があるように感じていました。このとき私は、どうして部活の人と仲良くできないのだろうか？文化の違い？日本語が通じないから？と考えていました。それは、部活以外でも同じ状況で、同級生ともあまりコミュニケーションを取らず、自分の殻に閉じこもった生活をしていました。

徳島で大学院に入り、私は自分には変化が必要だと感じました。もう以前のような生活は嫌だからです。そこで、大学院でも入部したバドミントン

◆ 学校教育研究科 ^{そう}曹

^{きよく}旭（中国）

ン部で、みんなと仲良くなるために、毎回部活のとき、ノートとペンを持って、「すみません、お名前を覚えるために、サインをもらってもいいですか」と、声をかけることにしました。また、飲み会やバーベキューのようなイベントがあれば、積極的に参加するようにしました。すると、試合が終わると毎回先輩がアドバイスをくれるようになり、とても感動しました。

今では毎回の部活が楽しみです。部活を通じていろいろなことを学んでいます。もちろん文化の違いはあるかもしれませんが、人の感情はどの国でも同じだと思います。異文化コミュニケーションで一番重要なことは、態度に心がこもっていることだと思います。一歩前に出る勇気を持ってチャレンジすれば、どんな壁でも絶対に越えられると思います。だから、異文化コミュニケーションの道で、私は勇者になりたいです。ここの「勇者」とは、困難を克服して、前向きな気持ちを持って、異文化の壁を越える人、という意味です。

勇者になる道へ、心配するな、工夫せよ。

（人間教育専攻 人間形成コース 1年）



学生なんでも相談室 始動

学生なんでも相談室が4月に新規開設して、4ヶ月がたちました。この間、6月半ばにはフロアに向けた両開きの大きなドアと、そのドアの前に受付カウンター2つが設置され、明るく開放的な中にも相談室らしい雰囲気ができあがりました。

この4ヶ月にのべ130人がここを訪れ、何気ない話の中にちょっとした心のしんどさを盛り込んで「気分が楽になった」と帰っていく人もいました。

ここは、なんでも困っていることを、とりあえず、「話してみよう」と解決に向けて一步を踏み出してもらおう場所として機能させたいと考えています。

今後は、授業中の支援のあり方や、自己コントロールの方法等々の相談にもものっていきたいと考えています。コース等で指導や支援に悩まれている先生方とも手を携えて、学生支援に取り組んでいきたいと考えていますので、総合学生支援棟にこられたときなど、ついでに・・・でもかまいませんので、「学生なんでも相談室」にお立ち寄りください。

なお、7月に音楽科とコラボして開いたミニ演奏会を秋にも開催しますので、どうぞ、総合学生支援棟1階フロアにお越しください。

(学生なんでも相談室室長 いのうえ 井上とも子)

私たちは学生相談員として4月の新規開室より学生相談に関わってきました。学生と関わっていく中で様々な悩みや問題を理解し、手助けしていけるように日々考えています。もちろん難しく悩んでしまう事もありますが室長をはじめ、関係機関と連携し必要に応じた支援、対応を心がけています。

些細な事でも構わないので相談室を上手に活用してください。皆さんが利用しやすいようにイベントなども企画しています。第1回目のイベントとして、7月末にミニ演奏会&おしゃべり会を開催し、学生だけでなく職員も含む総勢50名程度の参加がありました。音楽科の学生が演奏するディズニープリンセスメドレーを聴きながら、皆さんリラックスした時間を過ごしているようでした。

今後もこのような会を定期的に行い、専攻の違う学生たちが集まれる機会をつくっていきたいと考えております。

もりまつかなみ にしのまいこ
(森松香菜実・西野麻衣子)



続ける，そして始める

みなさん，こんにちは！学生会会長の竹下早慧子です。今年度も学生会執行部一同，よりよい学生生活をめざして，楽しく活動しています。

4月には，部活動・サークル紹介イベント「うずうずフェスティバル」を行いました。今年度は，昨年度よりもパワーアップして実施しました。写真はそのときの写真です。新入生と在学生の距離を近くすることができたのではないかと思います。また，昨年度以上に，たくさんの部活動・サークルに協力をいただきました。とても嬉しく思います。ありがとうございました。

そして7月には，毎年恒例のかき氷大会。例年天候に恵まれないことが多いのですが，今年は，2日間とも晴天で，気温も高く，まさにかき氷日和でした。多くの方が参加してくださり，とても嬉しく思っております。

さらに今年度は，例年行っていたことに加えて，新しいことを実施しました。それは7月末に行わ

◆ 学生会長 ^{たけ} ^{した} ^{さえこ} 竹 下 早慧子

れたオープンキャンパスで，学生発信の鳴門教育大学のパンフレットを配るというものです。「鳴教丸わかりっ！最強のガイドブック」と題して，高校生にお配りしました。大学生の視点からの大学のよさを高校生に伝えることができたと思っています。

後期にもイベント目白押し！学生会執行部一同，頑張っていきたいと思っています。



超変革！！

社会系コースL1の遠藤雅大です。平成28年度院生会会長を同年4月から務めております。当初，院生会という組織が何なのか分からないまま手探りの状態で進む日々を過ごしていました。院生会総会やソフトボール大会，国際交流パーティーなどのイベントを通して，人と人の関わりの重要性を再確認しました。ご協力いただいた院生会役員や理事，ボランティアの皆様には心より御礼申し上げます。

さて今年度の院生会活動の方針についてですが，今までの活動も引き継ぎながら，新たな活動にも挑戦したいと思っています。例年，院生会単独で開催しておりました国際交流パーティーですが，本年度は学生会と共催したことで大いに盛り上がり，満足度の高いパーティーとなりました。ソフトボール大会は雨天のため，途中で打ち切りとなってしまいましたが，新しいルールや制度を導

◆ 院生会長 ^{えん} ^{どう} ^{まさ} ^{ひろ} 遠 藤 雅 大

入したことで，より安全に楽しく競技ができていたと思っています。

後期には鳴門リレーマラソンやソフトバレーボール大会などの大きな行事が控えており，院生の皆さんの記憶に一生残るような行事となるよう院生会委員一同，一生懸命取り組みたいと思っています。

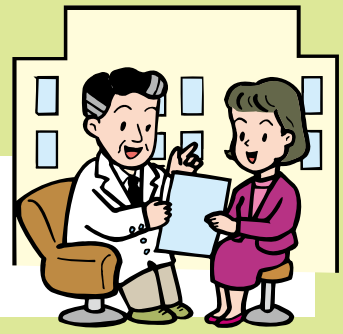
これからも院生会の活動にご理解とご協力をお願いします。



健康手帳

若年女性に特有の病気

◆ 心身健康センター所長 ひろ 廣 せ 瀬 まさ 政 お 雄



病気の発生には性別と年齢が密接に関係しているものがあります。新臨床内科学書（第7版）に記載されている約470種類の内科系疾患のうち、発生率に男女差がある疾患が94種類ありました。専門的で特殊な病名のものを除外して、一般的な疾患で男性に多いものは、がん（食道がんなど）、生活習慣病関連疾患（大動脈瘤、虚血性心疾患など）などで、一方、女性に多いものは、軽症のものでは鉄欠乏性貧血、便秘症、神経性食思不振症などで、重症のものでは甲状腺疾患や多くの自己免疫疾患（全身性紅斑性狼瘡（SLE）、重症筋無力症、慢性関節リウマチなど）などがあります。

私は本学で強い下腹部痛を訴えた患者3人を経験しました。いずれも学部女子学生でしたが、虫垂炎や腸閉塞などの一般的な外科疾患による腹痛とは異なるものでした。ひとりには思春期に卵巣がんに罹ったことがあるということでしたが、あとの2人に既往歴はありませんでした。卵巣がんに罹ったという学生はその後の治療が行われていなくて、卵巣嚢腫を誤って理解していたものと思われました。3人とも鳴門病院に紹介しましたが、腹腔鏡を用いた緊急手術により回復しました。診断は卵巣嚢腫で、ひとりには卵巣嚢腫の再燃と思われました。卵巣嚢腫の大きさはいずれも直径が10cmを超えるようなサイズのものでした。

卵巣は、子宮の両側にある空豆のような形の器官で、月経のリズムを作るホルモンを分泌し、排卵を起こす臓器です。腫瘍ができやすい臓器のひとつでもあります。卵巣の病気の初期症状として、次のようなものをあげることができます。

- ・下腹部痛や腰痛がある
- ・下腹部にふくらみを感じる
- ・月経血の量が急に増えたり、月経痛が強くなった

・最近、便秘や頻尿になった

卵巣にできる腫瘍は、硬いものと柔らかいものに分けられます。触って硬いものは悪性腫瘍と診断されることが多く、柔らかいものは卵巣嚢腫とされます。卵巣嚢腫は卵巣にできる腫瘍のうち、悪性でないものの総称で90%以上を占めるといわれています。卵巣嚢腫では、大きくなった卵巣が腹壁の動きにより頸部がねじれて、非常に強い腹痛が発生します。卵巣嚢腫には4つの型が知られていて、10歳代の若い人から年配者まで注意が必要です。

子宮に発生する腫瘍では子宮体がんとうつ頸がんがあります。このうち、子宮頸がんは若い女性に多いといわれていますので、子宮がん検診も20歳代から受ける必要があります。ほとんどの子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）の持続的な感染が原因です。わが国での発生は、年間10,000人程度で20代後半から増えていきます。亡くなる方は、年間3,000人程度と報告されています。

これに対して2006年からワクチンが始まっており、子宮頸がんの罹患率を半減できるという推計がなされています。わが国では、2009年に接種が始まりましたが、希望すれば近医で受けることができます。このワクチンは上腕の筋肉中に垂直に2-3cmの深さで薬液を注入するという特別な方法で行いますので、強い痛みを感じて驚いた人もいます。現在、このワクチンの副反応（痛みと神経症状など）が社会問題となっていますが、世界中で日本でしかみられない現象でもありますので、今後の成り行きを見守る必要があります。

行事等【平成28年10月～平成29年3月】		
共通	10月1日(土)	創立記念日(35周年)
	10月3日(月)	授業開始
	10月11日(火)	「後期履修登録」締切
	10月12日(水)～10月18日(火)	後期履修登録変更期間
	11月11日(金)～11月13日(日)	大学祭・学生表彰表彰状授与式
	12月19日(月)～12月26日(月)	冬期集中講義
	12月27日(火)～1月5日(木) 1月下旬	冬期休業 サークル・リーダーシップ・セミナー
2月24日(金)～3月31日(金)	学年末休業	
3月17日(金)	学位記授与式, 各賞授与式, 学生表彰表彰状授与式	
学部	10月12日(水)～10月25日(火)	施設実習(2年)【鳴門こども学園等】 期間中10日間
	10月24日(月)～10月28日(金)	特別支援教育観察実習(4年)【附属特別支援学校】
	10月24日(月)～11月18日(金)	特別支援教育実習(4年) 【附属特別支援学校, 県立特別支援学校】 期間中2週間
	10月25日(火)～10月26日(水)	3年次生合宿研修
	10月24日(月)～11月4日(金)	副免実習(4年)【附属中学校】, 【附属小学校 25日(火)～】
	1月31日(火)	「卒業研究」提出締切
	2月16日(木)～2月22日(水)	後期試験期間
大学院	11月30日(水)	1年次生(修士)(長期履修2年次) 「学位論文計画書」提出締切 2年次生(修士)(長期履修3年次) 「学位論文計画書(変更届)」提出締切
	1月20日(金)	2年次生(修士)(長期履修3年次)「学位論文」提出締切 2年次生(専門職学位課程)「最終成果報告書」提出締切

入試関係行事

- 学部推薦 (I型)
11月20日(日)
- 大学院 (中期選抜)
11月26日(土)
- 大学入試センター試験
1月14日(土)・15日(日)
- 学部推薦 (II型)
1月24日(火)
- 学部 (前期日程)
2月25日(土)・26日(日)
- 大学院 (後期選抜)
3月4日(土)
- 学部 (後期日程)
3月12日(日)

学生会主催行事

- クリスマス・イルミネーション
11月下旬～12月 図書館前
- 卒業記念パーティー
3月17日(金) 体育館

院学生会主催行事

- ソフトバレーボール大会
12月17日(土) 体育館
- 修了記念パーティー
3月17日(金) 体育館

就職支援行事予定

- ※詳細は、就職支援室で確認すること!! (平成28年10月～平成29年3月)
- 3年次合宿研修……………10月25日(火)～26日(水)
- 大学院生就職研修会……………10月29日(土)
- 企業ガイダンス……………11月2日(水), 11月16日(水)
- 教採対策ガイダンス(基礎編)……………11月2日(水)・9日(水)・30日(水), 12月7日(水)・14日(水)
1月18日(水)・25日(水), 2月1日(水)・8日(水)・15日(水)
- 公務員等ガイダンス I・II……………11月9日(水), 2月15日(水)
- 教採対策ガイダンス(論作文編)……………11月16日(水), 1月11日(水)
- 就職ガイダンス I・II・III・IV……………11月30日(水), 12月14日(水), 2月1日(水)・8日(水)
- 身だしなみ講座……………1月25日(水)
- 教採実技ガイダンス(集団)……………12月3日(土)
- 本学出身教職関係者との情報交換会……………1月28日(土)
- 教採実技ガイダンス(個人)……………2月4日(土)
- 教員採用模擬試験……………2月24日(金)
- 教採対策特別ガイダンス……………1月～7月上旬

編集後記

大学祭を間近に控え、実行委員の皆さんを中心に運営を進めていることと思います。大学生活の中心はこのような学生の皆さんの活動にあります。自分を振り返っても、このような自主的な活動を通して身につけた力は社会に出てからも役に立っています。講義以外の学びは皆さん自身で作上げることができるのが大学生の特徴です。

今回の『学園だより』74号には、大学教員からのメッセージだけでなく、そのような学生の皆さんの活躍ぶりについて記事が多く掲載されています。これを通して、皆さんがどのような活動をしているのかを理解し、より有意義な学生生活を送るための一助になることを願っています。

最後になりましたが、今回の『学園だより』にご投稿いただきましたすべての方々に感謝申し上げます。

